

どの故郷にも戦争に使う土砂は一粒もない

## 辺野古土砂搬出反対全国連絡協議会 第4回総会 in 北九州

# 学習交流集会ご案内

奄美大島で2015年5月に結成された「辺野古土砂搬出反対全国連絡協議会」の第4回全国総会が、北九州市で開催されます。学習交流集会では、第一線で活躍する講師のみなさんのお話が聞けます。是非ご参加ください。

●日時：2017年5月27(土) 15時～18時

●会場：北九州市立商工貿易会館 2階多目的ホール  
(モノレール旦過駅よこ)

●参加費：500円 (チケットがあります)

●学習交流集会プログラム：

①基調講演

「辺野古・高江の基地建設とやんばるの森の世界自然遺産登録は両立するのか？」  
講師 桜井国俊 (沖縄大学名誉教授)

②講演—2

「生物多様性から見た辺野古土砂問題」  
講師 湯浅一郎 (辺野古土砂全協顧問)

③特別報告

「辺野古新基地建設と港湾労働者の立場」  
糸谷欽一郎 (全国港湾労働組合連合会委員長)

④質疑応答&桜井国俊さんと湯浅一郎さんのトーク



キャンブッシュワブの工事車両入口にて

### 辺野古埋め立て土砂搬出反対北九州連絡協議会

お問い合わせはお気軽に

八記久美子 080-1730-8895・森下宏人 090-9495-3902・南川健一 090-2853-7116  
三輪 幸子 090-9591-8421・安藤昭雄 090-2501-4907・法本健吾 093-321-3246

# 《講師・報告者紹介》

## ●基調講演…桜井国俊(沖縄大学名誉教授)



1943年静岡県熱海市生まれ。東京大学卒、工学博士。沖縄環境ネットワーク世話人。東京水俣病を告発する会など、多くの市民運動に関わる。WHO や JICA の環境専門家として多くの途上国で働く。青年海外協力隊の環境教育隊員の育成に、25年にわたり関わる。東京大学客員教授、沖縄大学教授、沖縄大学学長などを経て、現在沖縄大学名誉教授。翁長知事が設置した第三者委員会の委員として、辺野古埋め立承認の法的瑕疵を解明。

## ●講演…湯浅一郎(辺野古土砂全協顧問)

1949年東京都生まれ。ピースデポ副代表・環瀬戸内海会議共同代表・辺野古土砂全国連絡会顧問。旧通産省・中国工業技術試験所(呉市)、産業技術総合研究所を経て現職。専門は海洋生物学・海洋環境学。理学博士。著書に「原発再稼働と海」(緑風出版)、「科学の進歩とは何か」(第三書館)など。



## ●特別報告…糸谷欽一郎(全国港湾労働組合連合会委員長)



全国港湾は昨年、辺野古基地建設反対対策委員会を立ち上げました。翁長沖縄県知事との面談では、「辺野古新基地建設に反対する決議」を手渡し、新基地建設に使う埋め立て土砂の搬出・搬入が港湾で行われることに対して、反対運動を取り組む決意を伝えました。

## 是非ご参加ください

- みなさんは「エアシーバトル構想」をご存知でしょうか。これは、大きな軍力をもった中国を封じ込めるため、米国が、日本全土を防波堤とする戦略です。そのために、米国と安倍政権は、宮古島や石垣島に自衛隊のミサイル部隊を配置しようとしています。
- そして、自衛隊が米軍の代わりに戦争をするため、米軍の指導のもと日本版海兵隊「水陸機動団」と、米海兵隊との共同訓練が行われています。その訓練のために、辺野古と高江は必要不可欠となっています。
- 私たちは、辺野古の新基地をつくらせないため、門司からの土砂搬出を何としても食い止めたいと、学習会・要請行動・毎月の小倉駅での街頭宣伝などの活動を行っています。
- 今回行われる、全国総会での学習交流集会は、地元だけでは企画できない、全国総会ならではの講師陣です。是非、多くの方に聞いていただきたいと思います。

※辺野古土砂北九州では、「標的の村」「戦場ぬ止み」に続く、三上智恵監督の新作「風(かじ)かたか 標的の島」の映画上映を、実行委員会として取り組む準備をしています。この映画は辺野古や高江の現状をはじめ、宮古島・石垣島などに、自衛隊のミサイル発射基地をつくらせようとする米軍と安倍政権の計画。そして、故郷を守ろうとする人たちの姿が描かれています。